

マイクロニクス

スペクトラムアナライザーを 春からキャンペーン提供

マイクロニクスは高周波（RF）を強みとする電子計測器メーカー。ハンディタイプ

のスペクトラムアナライザーや電波暗箱の提案を行っている。ETC（有料道路自動料金収受システム）とDSRC（狭域通信）用試験システムでは高いシェアを持つ。

「16年ほどのような年でしたか」

「高度道路交通システム（ITS）の整備と拡充に伴い、ETC/DSRC試験システムが15年に続き好調に

推移した。ETCの通信技術で情報サービスが受けられるエリア（ITSスポット）が広がることで、17年も期待している」

「17年の施策について」

「当社のスペクトラムアナライザーは、利便性とコスト面の両立を図り、周波数測定欠かせないユーザーに活用されている。一方、リーチできていないユーザーも多く存在している。そのため、4月1日

から最大約30%の値引きを行うキャンペーンを実施し、裾野を広げていく。強みとするRF測定において自社製品をシステム化した。最大9チャンネルの周波数信号を1台のモニターに表示するなどの製品群を6機種をそろえ、短納期にも対応し好評だ。今後は国内に根付いた企業と協業し、システムを開発し提案

「高度道路交通システム（ITS）の整備と拡充に伴い、ETC/DSRC試験システムが15年に続き好調に

推移した。ETCの通信技術で情報サービスが受けられるエリア（ITSスポット）が広がることで、17年も期待している」

「17年の施策について」

「当社のスペクトラムアナライザーは、利便性とコスト面の両立を図り、周波数測定欠かせないユーザーに活用されている。一方、リーチできていないユーザーも多く存在している。そのため、4月1日から最大約30%の値引きを行うキャンペーンを実施し、裾野を広げていく。強みとするRF測定において自社製品をシステム化した。最大9チャンネルの周波数信号を1台のモニターに表示するなどの製品群を6機種をそろえ、短納期にも対応し好評だ。今後は国内に根付いた企業と協業し、システムを開発し提案



田仲 克彰 社長